

男女共同参画の視点で女性たちが協力し合いエンパワーメントできる様な関係をイメージして名付けました。

シスターフッド

第 67 号(2022.4)



豊橋女性団体連絡会とは

女性の多様な活動が広がる中で、互いに切磋琢磨し、その持てる力を社会に向けて発揮していくことを目指しています。

「協働と共生」で様々な課題に取り組みながら、女性団体同士の交流を深めています。

令和 3 年度参加団体

わっぱの会、とよはし未来を拓く会、豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、
新日本婦人の会豊橋支部、kids&Mama NPO ねこのて、とよはし女性フォーラム、
NPOとよはしCAP、ハッピーグループ、NPO まんま、豊橋商工会議所女性会、グループ音紡ぎ、
農村輝きネット・東三河、ラ・ポール、JA 豊橋女性部会(休会)、箏曲 新珠会(休会)

コロナ禍と共に活動した今年度。非常事態宣言が発令され、行動が制限され時間も多くありました。そんな中で、昨年は中止した三遠南信地域女性交流会をどう開催するか。連絡会で論議の末、初めて ZOOM での交流会を開催しました。慣れないオンラインでの交流にドキドキした方も多かったと思いますが、今年ならではの交流会に得るものも多かったのではないのでしょうか。感想など報告します。

三遠南信地域女性交流会 2021年11月25日

新日本婦人の会豊橋支部 水谷津太枝

浜松市、飯田市、豊橋市の女性団体・グループが情報・意見交換等の交流を通し、三遠南信地域の連携と共生に向けて、女性の力を生かした活力ある地域社会の形成に貢献することが目的となっています。

今回はオンライン（Zoom）開催でした。

出前講座「海洋プラスチックごみ問題を考えよう！」（豊橋市環境政策課作成）を視聴。汐川干潟にペットボトルやポリ袋が散乱の場面もありました。海洋プラスチックごみが生物や漁業へ影響していることも。

テーマ「私たちのSDGs～プラごみどうする？」でグループワーク。マイボトルや買物袋を持参、個人では限度があり国の政策が必要、足元からの活動が大事だし、子どもたちにも楽しみながら伝えていく、行動すれば未来が変わる、マイクロビーズがとても心配、海辺・砂丘や道路のごみ拾いをしている、砂浜ではプラスチックでコーティングされた被覆肥料の殻も混じり、ザルを使ってとっているが絶望感をいただくほどの海洋ごみの量があるなど、さまざまな意見交流になりました。

後日、豊橋女性団体連絡会の会議の時に関連記事として、新婦人しんぶん 2021. 12/11号『白い砂粒の正体はマイクロプラスチックだった』を配り、被覆肥料は作物の生育に合わせて、ゆっくり溶け出し1回撒くだけでよいので、多くの農家が使っていることがわかった。海を汚染するプラスチックでおおわれた被覆肥料だが、使わなければ、農家は重労働になり、経営も赤字になる。環境問題と利便性の追求は難しいが、プラスチックを使わない代替肥料など、今後考えていかなければならない課題です。



東三にじの会 小杉賀洋子

前半は、豊橋市環境政策課の出前講座。海洋プラスチックごみについて分かりやすく説明があり、質疑応答では、個人では限界がある自治体、企業やそれぞれが英知を出し合っていかなければ待たなしの状態など、危機感を感じさせる意見が出ました。

後半はグループワーク「私たちのSDGs、プラスチックごみどうする？」というテーマで、意見交換を行いました。私たちのグループは、ボランティアの方たちと海岸清掃をするウェル

カメクリーン作戦、子ども達への環境意識を育てる講座脱炭素社会ライフなどのお話がありました。

また天竜川河口で清掃ボランティアをされている方からは、飯田市の有志の方々の努力があって、天竜川のきれいさがあると改めて感じ、感謝します！との声も上がりました。

話し合いでは、不安や疑問もあるが生活の小さいことから始めて、積み重ねていく大切さを再確認。そして、私たちは婦人団体なので足元を見ることを大事にし、気づいたことを私たちの力で進言していくことが必要である。「行動すれば未来が変わる」の一言にうなずきつつ、その笑顔にも励まされました。

私はファシリ担当でしたが、時間配分に気を取られてしまい、もう少し丁寧にお話を聞かせてもらえば良かったなあと反省しました。初めてでドキドキ緊張しつつも、いい経験になりました。



今年度の『女性と市長の懇談会』は、テーマを子どもの貧困対策として話し合いをしました。この懇談会は女性から見た考えや意見をもとに市長と話し合い、市政に反映させていくことを目的とし、平成6年度から毎年開催されています。

女性と市長の懇談会 テーマ…子どもの貧困対策について

わっぱの会 大林京子

12月12日、上記のテーマについて女性と市長の懇談会がありました。女性団体から3人、公募として2人の女性と、浅井市長、こども未来部長、教育部長、企画部長の9人での懇談会。

今回は市長室での開催となり、ソファに座ってのゆったりした感じから、しゃべりやすさがあり会話も弾みました。

こちらからの質問や提案に市長は「そうですね～」とか「なるほど」など、

前かがみで話を受け止めてくれ、いろいろな課題が今後進展しそうな様子も話されました。

また、今回一般公募で参加された方は「今、私が困っている」という話をされ、その相談窓口があることを知らずにいることが明らかに。情報があっても必要な人に行き届いていないと感じました。周囲にいろいろな情報を知っている人がいることが大事で、私たちもその一端を担えるといいのではないのでしょうか。



今回参加して、この後どうなったかを、また話せる機会があるといいのではないかと感じています。

～ 質問内容 ～

- ・ 夏休みにお弁当の提供について、現状を
- ・ 子どもの貧困対策に関して、商工会議所女性会にできること
- ・ 豊橋ではヤングケアラーをどのようにとらえているか
- ・ 給食の無償化を実現してほしい
- ・ 女性キャリア育成が子どもの貧困対策となる
- ・ 子どもの貧困を見つける場として、学校は大きく貢献できる
- ・ 福祉協議会で制服などの格安提供のために、卒業生の寄付に力を入れてほしい
- ・ 貧困家庭の子供の進学に補助を。看護学校の学費助成を手厚く
- ・ 子ども食堂に支援を。学習支援、遊びの場の確保も
- ・ 児童クラブの無償化



豊橋女性団体連絡会 広報誌

シスターフッド 第67号 発行年月日 2022.4

編集・発行 豊橋女性団体連絡会

(担当) 豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、新日本婦人の会豊橋支部、kids&Mama NPO ねこのて

一年間、ありがとうございました。